

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 国立大学法人 高知大学

1. 事業の趣旨・目的

日本語ボランティア、並びに小中学における取出し授業担当者、および高校での日本語教師を中心に最近の情報を提供し、実力と変化に対応し、自分の存在意義と方向性を把握できる各自のポートフォリオ作成を目指す。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
10月14日 16:30～17:30	高知大学	小澤 萬記 奥村 訓代 高村 仁美	平成23年度事業の 実施について (全体)	1. 全体の流れと構想の 説明 2. 今年の特徴と課題 ・高知以外の2か所開催 ・特別講師と期待する内 容 3. 現状の会場依頼 (土佐会場・南国会場) と進捗状況 4. その他 ・講師移動対応などの関 係諸問題について
10月28日 18:30～19:30	明德義塾 中学高等 学校	吉田 圭一 弘末 光夫 岩田 正博 奥村 訓代	平成23年度事業の 実施について (土佐市会場分)	1. 具体的なスケジュール の打合せ 2. 目的と内容紹介 3. 明德義塾高校の会場提 供等について 4. その他
12月10日 9:00～10:30	南国市立 中央公民	和田 義許 大石美佐子	平成23年度事業の 実施について	1. 具体的なスケジュール の打合せ

(6) 受講者の総数 42 人

(出身・国籍別内訳 日本 40 人、韓国 2 人)

(7) 開催時間数(回数) 48.5 時間 (全 10 回)

講義 45 時間 (9 回)、実習 3.5 時間 (1 回)

(8) 参加対象者の要件

小・中・高の日本語担当者、日本語ボランティア、及びこれから日本語教師やボランティアを希望するもの

(9) 講座内容

回	開催日時	時間数	受講者数	講座名／学習内容	講師
①	2月4日 12:30~17:30	5時間	11人	地域にあった人材育成	高知大学教授 奥村 訓代
②	2月5日 9:00~15:00	5時間	6人	地域にあった人材育成	高知大学教授 奥村 訓代
③	2月11日 12:30~17:30	5時間	9人	組織からみた期待される日本語教師像	元 JASSO 日本語教育センター副センター長 唐澤 清司
④	2月12日 9:00~15:00	5時間	9人	組織からみた期待される日本語教師像	元 JASSO 日本語教育センター副センター長 唐澤 清司
⑤	2月18日 12:30~17:30	5時間	21人	広く、多方面から日本語教育界を眺める	高知大学教授 奥村 訓代
⑥	2月25日 12:30~17:30	5時間	9人	直接法のメリットとデメリットを理解したうえでの、学習者のニーズに合わせた取り組みとケーススタディー	高知大学教授 奥村 訓代
⑦	2月26日 9:00~15:00	5時間	7人	直接法のメリットとデメリットを理解したうえでの、学習者のニーズに合わせた取り組みとケーススタディー	高知大学教授 奥村 訓代
⑧	3月3日 12:30~17:30	5時間	9人	高知県内の外国人登録者及び日本語ボランティアの現状 ほか	同志社女子大学教授 丸山 敬介
⑧	3月4日 9:00~15:00	5時間	5人	高知県内の外国人登録者及び日本語ボランティアの現状 ほか	同志社女子大学教授 丸山 敬介

⑩	3月10日 13:00~16:30	3.5 時間	6人	教育実習	学校法人穴吹学園穴 吹カレッジ留学生支援 センター バロス造田幸子
---	----------------------	-----------	----	------	--

《授業風景》

- 2月12日 テーマ:組織からみた期待される日本語教師像



- 3月10日 テーマ:教育実習(授業見学)



(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

研修後や実習後のアンケートによると、非常に満足しているのが伺える。「もっと前から参加したかった」とか、「次回も必ず参加する」という意見ばかりだった。特に今回は、場所を従来の高知市内(特に大学)から近隣の市町村への出前講座を開講したため、今まで参加できなかった方から「良かった」「勉強になった」という意見が多く寄せられた。

② 実施主体からの研修内容結果評価

東西に長いという高知県の特殊事情を考慮し、今回は高知市の両隣の市(南国市、および土佐市)で開催した。その成果として従来の参加者に加え新しい地域の人々の参加が得られたことは、今後のためにも大きな進歩であった。また、高知市以外の人々の要望にも応えることが出来た。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

少しずつではあるが、存在や活動が認識されつつあり、地域や協力団体が広がりつつある。各種ボランティア活動団体や興味のある方の輪が確実に形成され、定着しつつあることを感

じる。

(11) 事業の成果)

- ① 他事業との連携:他団体(NPO, 日本語サークル)との協力体制の充実と発展
- ② 研修後の人材活用:関連者間の協調(指導者間の勉強会や情報交換の進歩)

(12) 今後の課題

今後、ますます底辺を広げ、高知市中心から南国市・土佐市から須崎市、土佐山田市へと地域を拡大していきたい。そしてゆくゆくは、東の室戸市から西の宿毛市までを網羅できる体制を確立し、高知県全土にボランティアの輪を広めたい。